

志太マンドリン・ギター アンサンブル 第33回 定期演奏会

2020年 11月15日(日)

第1回公演 開場／12:30 開演／13:00

第2回公演 開場／15:00 開演／15:30

焼津市大井川文化会館ミュージコ

主催 志太マンドリン・ギターアンサンブル

<http://shidaman.music.coocan.jp/>

後援 藤枝市教育委員会 焼津市教育委員会

静岡新聞社・静岡放送





プログラム



南蛮Sacay (湯浅 隆)

劇楽「細川ガラシャ」(鈴木 静一)

ミッドナイト・ブルー ～ピアノソナタ「悲愴」第二楽章より

モルダウ・ワルツ ～交響詩《わが祖国》「モルダウ」より

明日に架ける橋

レコード大賞メドレー

勝手にしやがれ～北の宿から～魅せられて

喝采～ブルー・シャトウ～愛は勝つ



ご挨拶

本日は、お忙しい中、第33回定期演奏会にお越しいただきまして誠に有難うございます。

今年はコロナ禍の影響を受けての開催となりましたが、お客様と関係者の健康と安全を最優先に考慮しました結果、1日2回公演と致しました。

マンドリンオリジナル曲からは、堺市の依頼によりマリオネットの湯浅隆氏が作曲した「南蛮Sacay」と、今年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主演 明智光秀の三女玉子の生涯を描いた劇楽「細川ガラシャ」の2曲を演奏致します。続きまして、ベートーヴェン生誕250年を記念しピアノソナタ「悲愴」第2楽章より「ミッドナイト・ブルー」・幅広い世代の心に響く名曲・レコード大賞受賞曲のメドレーを演奏致します。

部員一同心を込めて演奏しますので、最後までごゆっくりお聴き下さい。

そして、お手元のアンケート用紙に率直な感想をご記入いただければと存じます。最後になりましたが、開催にあたりご支援ご協力をいただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

志太マンドリン・ギターアンサンブル
部長 中山 勉

出演者紹介

指揮 長谷川 淳一 司会 安達 由美子

マンドリン

♪ 鷲山 正二 浅野 由佳子
♪ 鷲山 美知子 岡村 恵美子
園田 美穂子 中村 敏子
池田 東志子 内川 多都子
多々良 知江 渡井 敬子
青木 和子 増田 敏秋
桑原 佳世子 飯塚 忍

マンドラ

♪ 増井 綾子
鈴木 和美
原 弘子
市川 昭子
法月 理栄
野崎 浩孝(賛助)

マンドチェロ

♪ 米村 文子
高林 一弘

ギター

♪ 水元 雅弘
中山 勉
白井 正史
岡谷 晴夫
木ノ内 紀子

コントラバス

永谷 悟郎(賛助)

パーカッション

渋谷 裕紀子(賛助)
嶋崎 治利(賛助)
♪はパートリーダー

第33回定期演奏会実行委員長 白井 正史



演奏曲目のご紹介



南蛮Sacay

日本におけるポルトガルギターのパイオニア・湯浅隆とマンドリン奏者・吉田剛士による二人組のアコースティックユニット・マリオネットの楽曲で、日本・ポルトガル交流470周年を記念して、大阪府堺市の依頼により制作されました。1543年8月25日(旧暦)、種子島最南端の門倉岬に1隻の船が漂着。時の種子島島主種子島時堯は、乗船していたポルトガル人が所有していた見慣れぬ火器に興味を示し、金2,000両で2挺を譲り受けました。これがいわゆる「鉄砲伝来」、両国間の470年に亘る交流の始まりです。この出会いを機に、当時南蛮人と呼ばれていたポルトガル人との交易が始まります。この交易は南蛮貿易と呼ばれ、ポルトガルからは鉄砲・火薬・中国の生糸などが輸入され、日本からは銀・金・刀剣などが輸出されました。ポルトガル人がもたらした鉄砲は、その後日本人により試行錯誤の末製法が確立され、堺などで大量生産されるようになりました。ポルトガル人との交流は、それまで日本に存在しなかった文物と共に、日本語に新しい語彙をもたらしました。例えば、パン(pão)、コップ(copo)、ボタン(botão)、タバコ(tabaco)、シャボン(sabão)等、ポルトガル語をルーツとする多くの言葉が今なお日本語に残り、日常的に使われています。また、ポルトガル語のiombo(屏風)、catana(刀)は、少々発音は変化していますが、日本語を起源とする言葉です。

劇楽「細川ガラシャ」

放映中のNHKの大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀。その三女として誕生した「たま」が、やがて細川忠興に嫁し細川ガラシャとなります。比類なき美女と伝えられています。そんな彼女の運命は、父光秀の信長襲撃「本能寺の変」により翻弄されてゆきます。やがて幽閉の身となりますが、信仰の道に光をみつけキリシタンとなり「ガラシャ」という洗礼名を受けます。秀吉の死後、幽閉は解かれますが石田三成と徳川家康の対立が激化、ガラシャに人質の危機が迫ります。彼女は自己の尊厳と誇りを守りそれを拒みます。しかし自害を禁じられた教えに従い、家臣に自らの胸を突かせ波乱の生涯を閉じました。曲はガラシャの悲劇を暗示するように始まり、戦乱の世を象徴するallegroのメロディと壮麗なandantの聖歌を中心に展開されていきます。そしてクライマックスの悲劇に向かってゆきます。

ー 散りぬべき時知りてこそ世の中の花も花なれ人も人なれ (ガラシャの辞世) ー

ミッドナイト・ブルー

ベートーヴェンのピアノソナタ第8番『悲愴』の第2楽章をポップにアレンジして歌詞を付けたもので、1982年にイギリスのオペラ歌手ルイズ・タッカーが歌ってヒットしました。日本では1980年代のブリヂストンのCMでこの曲が使われていました。原曲のピアノソナタ第8番「悲愴」は、第14番「月光」、第23番「熱情」とともにベートーヴェンの3大ピアノソナタと呼ばれています。悲愴とは「悲しく痛ましいこと。また、そのさま。」と辞書では出てきません。悲愴を作曲していた頃は、ベートーヴェンが耳の異変を感じ始めた時期でもありました。「ベートーヴェンの難聴」と「悲愴」の関連はわかりませんが、少なからず関係していたのかもしれない。

モルダウ・ワルツ

この曲の原曲は、スメタナ作曲の連作交響詩「わが祖国」の2曲目「モルダウ」です。原曲では、モルダウ川の源流からプラハ市内へと続く上流から下流への川の情景が、とても鮮明に描写されています。モルダウ川のまたの名は「チェコの母なる川」。国境の森を源流とし、首都のプラハを通して、エルベ川へと流れ込みます。チェコの大動脈として、文化をはぐくみ、繁栄をもたらしてきました。この作品はそのタイトル通りモルダウ川をテーマとしており、チェコの美しい自然と人々の暮らしが音楽で表現されています。スメタナの作曲作品の中で最も有名な曲であり、合唱曲などの歌曲にも編曲されて愛唱されています。作・編曲家の遠藤秀安氏が、この曲の最初の主題をワルツの曲調にアレンジし、マンドリンオーケストラの編成で編曲しました。

明日に架ける橋

原題は「Bridge over troubled water」。サイモン&ガーファンクルが1970年に発表した曲です。彼らにとって3作目となる全米1位獲得シングルで、最大のヒット曲となりました。ポール・サイモンがゴスペルに影響を受けて作った曲で膨大な数のアーティストによってカバーされましたがなかでもアレサ・フランクリンがゴスペル・ソングとしてカバーしたものがアフリカ共和国で讃美歌として普及したのうなずけます。又、最近では新型コロナウイルスの感染者の対応に当たるイギリス西部の仮設病院の医療関係者等がこの曲を歌った動画が大きな反響を呼びました。

皆様の中にもご覧になった方がいらっしゃるのでは、ないでしょうか。この曲は困難な時期を乗り越えていくことなどをテーマにしている曲名が「明日に架ける橋」と和訳されたのも、歌詞の中の和訳「もし君が疲れ果てて…涙が溢れ出てくるときは、僕がそれを拭い去ってあげよう」「荒波に架かる橋のように僕がこの身体を横たえよう」からヒントを得たものとされています。

レコード大賞メドレー

日本レコード大賞は日本の音楽賞で、1959年の第1回よりTBSのテレビとラジオで中継が行われています。当初は年末の昼間に放送されており、それほど注目されていませんでしたが、1969年の第11回から大晦日の19時～21時というゴールデンタイムでの放送となり、広く知られるようになりました。1970年代から1980年代にかけては、「NHK紅白歌合戦」と並び称される国民的音楽番組となっていました。本日は、これまでのレコード大賞受賞曲の中から、6曲をメドレーでお送りいたします。オープニングはジュリーこと沢田研二の「勝手にしやがれ」。「アンコ樁は恋の花」「涙の連絡船」につづいて3曲目のミリオンヒットとなりました、都はるみ「北の宿から」。両手を広げると裾から手首まで袖が扇状に広がる白のドレスが印象的な、ジュディ・オング「魅せられて」。発売されて3ヶ月での受賞という例を見ない快挙でした、ちあきなおみ「喝采」。〈森トンカツ～泉ニンニク〉当時の子供たちの間で替え歌が流行りました、ジャッキー吉川とブルー・コメッツ「ブルー・シャトウ」。フィナーレは1991年大賞受賞曲、KANの「愛は勝つ」で締めくくります。



志太マンドリン・ギターアンサンブルプロフィール

1987年（昭和62年）2月に11名の有志が集まってサークルができました。同4月からは広幡公民館マンドリン教室の活動にも参加し、11月8日の藤枝市民コンサートにて初めて一般の方の前でステージをふみました。

1988年4月より正式に「藤枝マンドリンクラブ」として活動を開始、11月26日に第1回定期演奏会を藤枝市文化センターにて開催しました。

結成して10年を経過して第9回定期演奏会終了後、メンバーの広域化に合わせて「志太マンドリン・ギターアンサンブル」と名称を変更して現在にいたっています。



志太マンからのお知らせ

今後の活動予定

| | | | |
|-------|-----------|----------------|--------------------|
| 2021年 | 3月28日(日) | サロンコンサート | 会場：藤枝市生涯学習センター |
| | 4月4日(日) | サロンコンサート | 会場：焼津市ウェルシップやいづ |
| | 7月 | 藤枝市ミュージアムコンサート | 会場：藤枝市郷土博物館・文学館 |
| | 11月14日(日) | 第34回定期演奏会 | 会場：焼津市大井川文化会館ミュージコ |

音楽好き集まれ！部員募集中

\\ 私たちと一緒に演奏しませんか //

未経験者、blankがある方、大歓迎！昔弾いていたあなた！blankがあっても大丈夫ですよ♪

【練習日時】 毎週木曜日 19:30～21:30 / 藤枝市民会館会議室・藤枝地区交流センター

【会費】 入会金2000円 / 月会費1000円 / 定期演奏会の開催費人数割り負担金

\\ マンドリン教室、ギター講座を開催します //

①初心者の方を対象にマンドリン教室を開催します。レンタル楽器をご用意できます。

②ギター思い出し講座を開催します。ギターを弾いていたあの頃を思い出して一緒に合奏してみませんか。

【練習日時】 毎週土曜日(月4回) 19:00～一人30分程度

主に 藤枝地区交流センター

【会費】 月会費1000円 ※終了後、志太マンに入部して下さる方とさせていただきます

♪無料レッスンを受けられます。(2回まで)

\\ 見学会を行います。 ※事前にお申し込みください(教室、講座) //

①マンドリン初心者教室&ギター講座見学会

11月28日(土) 12月5日(土) 19:00～20:00

藤枝地区交流センター・藤枝市民会館 会議室

②志太マン見学会

毎週木曜日 19:30～21:30

藤枝市民会館 会議室

ホームページのご案内 / お問い合わせ・お申し込み

ホームページ : <http://shidaman.music.coocan.jp>

フェイスブック : <http://www.facebook.com/shidamandolin>

お問い合わせ : Tel 054-643-7586 (わしやま)

Email EZE04156@nifty.com

ホームページ フェイスブック



\\ 出張演奏いたします。お気軽にお問い合わせください / 楽しい情報満載!!

志太マン

検索